

◆ 2016年 第38週(9/19~9/25)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核 (高松 1件)
- 3類感染症 なし
- 4類感染症 なし
- 5類感染症 梅毒 (高松 1件)
- 修正 第36週 第3類感染症 0→3(高松 腸管出血性大腸菌感染症 0→3)
- 第37週 第2類感染症 1→2(西讃 結核 0→1)
- 第5類感染症 1→2(中讃 侵襲性肺炎球菌感染症 0→1)

感染症予防の基本は **手洗い** から調理時や食事の前、トイレの後は石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。



■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- 感染性胃腸炎(ウイルス、細菌)に気をつけましょう。  
調理や食事の前、トイレの後には石けんと流水でこまめな手洗いをこころがけましょう。
- 流行性耳下腺炎が例年に比べ全国的に流行しています。

2016年第38週の感染症発生動向調査による報告患者総数は274人で、前週(379人)の72.3%となった。

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(5.4→3.6)で減少している。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(2.1→1.5)で減少している。
3. RSウイルス感染症の報告は、県全体(1.4→1.3)で横ばいで推移している。
4. 流行性耳下腺炎の報告は、県全体(1.4→1.1)で減少している。
5. 突発性発しんの報告は、(0.8→0.5)で減少している。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	3.6人	5.4人	68.0%	4.9人	2.7人	○↘	○↗	○↘	○↘	○↘	○↗
② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.5人	2.1人	68.3%	1.4人	0.4人	○↘	△↘	・↘	・	○↘	○↗
③ RSウイルス感染症	1.3人	1.4人	97.4%	0.6人	0.8人	○→	○↗	・	△↗	△↘	○→
④ 流行性耳下腺炎	1.1人	1.4人	82.1%	1.3人	0.5人	○↘	○↗	・	△↗	○↘	△↘
⑤ 突発性発しん	0.5人	0.8人	61.9%	0.7人	0.7人	△↘	△↗	・↘	・↘	△↘	○↘

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し  
前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
なし							

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
Rhinovirus	咽頭	2016/9/16	西讃	上気道炎	遺伝子検査	1	
Rhinovirus, Respiratory syncytial virus	咽頭	2016/9/15	東讃	RSV 感染症	遺伝子検査	1	

◆ 気象週報 第38週の平均気温:22.7℃(過去の30年の平均気温23.1℃)

平均湿度:85.4%

地区別報告状況

Table with columns for Disease Name, Reporting Period (This week, Last week, 2 weeks ago, 3 weeks ago, Last 5 weeks, Last 10 years), and Reporting Districts (Takamatsu City, Mito, Higashi, Nakatsu, Nishio). Rows include various infections like RS virus, A group streptococcus, and influenza.

Summary table for reporting districts: Takamatsu City, Mito, Higashi, Nakatsu, Nishio. Columns show counts for Pediatrics, Ophthalmology, and General Medicine.

各地区の流行状況

- 流行警報地区 (Red)
流行注意地区 (Yellow)

小豆地区の小児科定点が第10週より2定点→1定点に変更されました。
インフルエンザ定点が第10週より3定点→2定点に変更されました。

年齢別報告状況(人数)

Large table showing age-specific reporting status by age group (from -5 months to 80+ years) for various diseases.